

×整理番号	
×受理年月日	年 月 日

液化石油ガス設備工事届書

年 月 日

南信州広域連合長 殿

氏名又は名称及び
法人にあつては
その代表者の氏名

住 所

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の3の規定により、次のとおり届け出ます。

工事に係る供給設備又は消費設備の所在地	
当該設備の所有者又は占有者の氏名又は名称	
当該設備の使用目的	
貯蔵設備の貯蔵能力	
工事の内容	

- (備考) 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 ×印の項は記載しないこと。
3 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。

設 備 工 事 の 内 容 等

工事の種類							
工事従事者 氏 名		氏 名	設備士免状番号	氏 名	設備士免状番号		
完成検査 実施者名							
気密試験 結 果		供給管等内容積		圧 力		気密試験保持時間	
		リットル		kPa		分	
貯 蔵 設 備	火気の種類及び距離	種 類				距 離	m
	腐食防止措置	有 ・ 無					
	転落、転倒防止措置	鎖 ・ ロープ ・ その他 ()					
	40℃以下対策	屋根 ・ 遮へい板 ・ その他 ()					
調整器メーカー・型式							
供 給 管	高压部 材質						
	中圧部 材質						
	低压部 材質	埋設管		露出管			
気化装置		有・無	ガス発生能力	kW			
安 全 装 置		1					
		2					
		3					
		4					
		5					
		6					

供給設備の技術上の基準

<p>1. 保安距離</p>	<p>①第1種保安距離（法定 m・障壁設置 m） 実際距離 m 保安物件の名称</p> <p>②第2種保安距離（法定 m・障壁設置 m） 実際距離 m 保安物件の名称</p>
<p>2. 障壁</p>	<p>①障壁の構造 材料 寸法（高さ） cm（厚さ） cm</p> <p>②扉の構造 材料（厚さ） cm</p> <p>③扉の補強 等辺山形鋼（枠） mm× mm（内） mm× mm 間隔（縦） cm（横） cm</p>
<p>3. 火気等との距離</p>	<p>①火気等の種類 火気等との距離 m</p> <p>②火気距離 障壁（材料） 高さ m</p>
<p>4. 滞留防止</p>	<p>①貯蔵設備面積 m^2 法定換気口面積 cm^2</p> <p>②実際の換気口面積 cm^2</p>
<p>5. さく、へい等の設置</p>	<p>さく、へい等の種類</p>
<p>6. 警戒標</p>	<p>①掲示位置</p> <p>②表示内容</p>
<p>7. 消火設備</p>	<p>①粉末消火器</p> <p>②その他</p>
<p>8. 軽量の屋根等</p>	<p>①屋根の場合 その材料</p> <p>②遮へい板の場合 その材料</p>
<p>9. 転倒防止等の措置</p>	
<p>10. 腐食防止措置</p>	

別紙（バルク貯槽）

バルク供給設備の技術上の基準

1. 貯槽の設備状況	
2. 貯槽の適合性	
3. 保安距離	①第1種保安距離（法定 m 構造壁等又は埋設設置 m） 実際距離 m 保安物件の名称 ②第2種保安距離（法定 m 構造壁等又は埋設設置 m） 実際距離 m 保安物件の名称
4. 構造壁等	壁の構造 材料 寸法（高さ） m（幅） m
5. 貯槽の表示	
6. 腐食防止措置	
7. 転倒防止等の措置	
8. プロテクター内のガス漏れ検知器の設置等	
9. 火気等との距離	①火気等の種類 火気等との距離 m ②火気距離が2 m以内 防火壁等の設置の有無